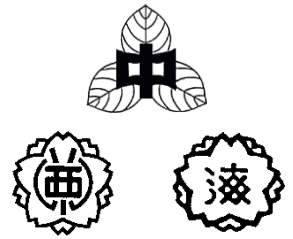


# 風は西から



平成 29 年 7 月 31 日 第 2 号

平成 29 年度「学びの変革」アクション・プランパイロット校事業  
平成 29 年度 21 世紀型能力育成総合対策事業（海田西中学校区）

## 第 2 回授業研究協議会（H29. 6. 24）報告

平成 29 年度研究主題

主体的に学びを深める児童生徒の育成

～協働・対話による「課題発見・解決学習」授業づくりを通して～

### 1 授業について

○日時・学年 平成 29 年 6 月 28 日（水）13：55～16：35 海田小学校 第 2 学年

内容・授業者 道徳 「森のしたてやさん（一部改作）」 授業者 加川 香 教諭

誰に対しても（内容項目 C 公正，公平，社会正義）

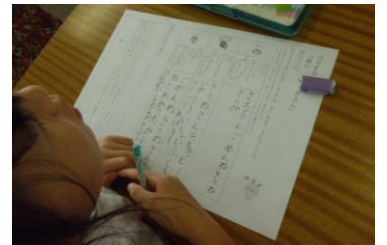
### ○授業の流れ

#### 本時のねらい

「うさぎは誰の洋服を先に作ればよいか」を考えることを通して、好き嫌いや損得にこだわらず、公正，公平に判断しようとする態度を育てる。

#### 学習展開

1. 課題意識をもつ。発問「順番はどうしても守らなければならないか。」
2. 教材の範読を聞く。発問「ここで、困ったことは何でしょう。」
3. うさぎは、誰の服を先に作ればよいかを話し合う。  
発問「ウサギさんはサル，キツネ，コグマの中でだれの洋服を先に作ればよいでしょうか。」
4. 導入の課題について日常生活の中で振り返る。
5. 今日の学習で学んだことをワークシートに書く。



### ○授業者反省

- ・議論する道徳を目指した。
- ・自分の意見をどのように出させるかで悩んだ。
- ・質問をすることで、話が活発になった。



### 2 協議について（成果：◎ 課題・改善点：▲）

#### 【協議の柱】

- A. 児童が主体的に学ぶ手立てが効果的であったか。
- B. かかわり合いながら学ぶ手立てが効果的であったか。

## Aについて

- ◎ 教材選定がよかった。(学びたいと思える教材)
- ◎ ネームプレートで自分の考えを明らかにしていた。(自己決定の場合)
- ◎ ワークシートで考える時間を十分にとることで、理由が書け、話し合いにつながった。
- ▲ 振り返りの際、自分の経験と重ねること、日常の生活場面でつなげていくことが必要。

## Bについて

- ◎ 板書やネームプレートによって自分の立場が分かりやすかった。
- ◎ 理由付けによる意見交流ができていたので、話し合いが活発にできた。
- ◎ 発言の仕方、聞き方の学習規律が定着しており、かかわり合いながら学ぶ基盤ができている。
- ◎ 質問をすることにより議論に深まりが見られた。
- ▲ 質問が、1対1から 1対集団、集団対集団へ広がるとよい。
- ▲ 対話となるためには、話し合う内容が、自分の価値を高めていける、深めていけるものでありたい。そのためにも、児童の対話がメインではあるが、切り返しによって価値を深められるようにする。

## ○海田町教育委員会 学校教育課 藤井雅子指導主事より (概要)

- ・ 質問が出るような授業にしていってほしい。1つの質問に全員が答えるのが理想。質問がずれる場合は、教師がまとめて方向づけをしてもよい。
- ・ 役割演技によって、断る経験をさせることも大切。これにより、「親友だから」「こわいから」が理由にならないことに気付かせていく。
- ・ 「守る」「守らない」ではなく、「守る」「譲る」の対立など小さなニュアンスの違いを大切にする。
- ・ 「一番につくりたいのは」と「一番につくるべきなのは」で分けて考える。
- ・ 道徳教育ハンドブックを活用してほしい。

【変わること】 ①評価 ②教科書

【変わらなければならないこと】

- ① 今まで考えたことがなかったことを考える。
- ② 友達と協力して新しい価値に気付く。
- ③ 新しい考え方に気付く。



(道徳的価値についての理解)  
自己を見つめる  
多面的に考える  
自己の生き方を考える。



### 学校教育全体で行う。その要としての道徳科

- ・ 本音、高い価値、多面的な考えを出すためには、発問、切り返し(ゆさぶり)が重要。
- ・ 課題発見解決学習は、日ごろの授業を見直す視点である。

## ○ 海田小学校 校長 寺岡成希より (概要)

- ・ 道徳科がつくられた背景には、いじめ問題がある。心情理解だけでは不十分。そこで、状況に応じて自己の生き方を考え、主体的な判断に基づいて道徳的实践ができるようにする。⇒行動化
- ・ 理由をつけることによって、その人の道徳性が滲み出る。  
道徳的価値①自分のため ②誰かのため ③社会のため  
それぞれの児童の発言に理由を付けて話させることで、価値を評価することができる。(低学年なら①か②)

## ○ 今後の予定 第3回研究授業 11月13日(月) 海田西中学校 保健体育科